

“大切な花”を咲かせよう



子どもの発達支援施設
つつじが崎学園

保育所等訪問支援通信NO. R6-4

10月に入り、朝夕は寒さを感じる日も増えてきましたね。園によっては運動会の練習が大詰めの日頃ではないでしょうか？子ども達も先生方も、元気に楽しく毎日を過ごして欲しいです。

さて、今回のテーマは「見る(読む)・聞く・書く」です。学習にも繋がる重要な部分ですね。学習は未就学児には早いテーマなのですが、子どもの「苦手」を理解していると、今現在の保育の中でもその子に合った支援を考える手立てになります。また、就学を迎える年長児の保護者から相談を受けることもあると思います。今回のテーマを保護者支援に役立てていただけたら幸いです。



＜ ADHD と ASD と LD (学習障害) ＞

ADHD や ASD を持つ子ども達の中には、その特性から「見る(読む)・聞く・書く」に苦手さを感じる子がいます。また、LD(学習障害)と症状が似ているので、間違われることがあります。ADHD・ASD・LDはそれぞれ違う障がいですが、これらを併せ持つこともあります。苦手さがあるからと言って全てが学習障害と判断されるわけではありません。(未就学の子もたちの「学習障害」の判断は専門家でも難しいと言われていました。)

LD(学習障害) → 「読む」「書く」「話す」「書く」「計算する」「推論する」など、部分的に遅れている状態。

＜ LD と他の特性が併合していることがある ＞

ADHD と併合されていると…

- 不注意からミスが多い
- 物をよくなくす
- ソワソワする
- 集中力が持続しない
- 忘れ物が多い
- 他の子の邪魔をする
- 話しかけられても聞こえていないように見える
- 順序よく整理できない
- 気が散りやすい
- 長時間座っていられない
- 質問が終わる前に喋り始める

ASD と併合されていると…

- 言葉の発達に遅れや偏りがある
- 遠回しな言い方や曖昧な言葉が理解できない
- 聴覚・視覚・触覚などの感覚がアンバランスで騒音が苦手(大音量に聞こえる。話す人の声が聞き取れない。)、チラチラするものに目がいく等、物事に集中できない。

また、以下の要因もあります。↓↓↓↓

- ワーキングメモリ(必要な情報を一時的に記憶し、処理をする脳の機能→脳のメモ帳)の弱さ
 - ・指示通りに行動できない
 - ・計算ができない
 - ・真似はできるけど、覚えられない など…
- 体を動かすことが苦手
 - ・頭で理解したように、体を動かすことができない。

①見る力の弱さが影響する困難

視力や視野の他、物をとらえるために動いたりピントを調節したりする目の運動機能や、目で受け取った情報を脳で処理ができない。

- 文字をじっと見つめたり、視線を素早く移動させたりすることが苦手。
- 文字の形を理解していても、言葉(単語)のまとまりを捉えづらい。
- 真似をして書くことが難しい。
- 立体的に形や奥行きを捉えづらい。
- 文字が滲む、ぼやける、歪む、動く。

②書く力の弱さが影響する困難

- 書き間違い
 - 枠からはみでる。
- ※見る(認識する)力が弱いと、書くことにも影響が見られます。

③聞く力の弱さが影響する困難

- 聞き間違いや聞き漏らしが多い
 - 必要な音・声を聞き分けることが難しい等…
- ※聴覚過敏・聴覚の鈍感さがある子もいます。

★★ LD にも、その他の発達障害にも対応できる 保育の中でできるサポート例 ★★

＜ 対応のポイント ＞

本人は頑張っている！

最大の目標は“二次障害”を防ぐこと！

“苦手”という一次的な問題に、周囲の関わりなど新たな要因が加わり二次的な問題が起こることを二次障害と言います。“見る・聞く・書く”だけでなく、集団活動に参加できない、友達とうまく関われない、切り替えができない等、一次的問題の理解をされずに過ごすと、特性を持った子は二次障害(特性が強くなる等)に繋がる可能性があります。その子の**苦手さに合った対応**を考え、“認められた”“自分を分かってくれる人がいる”という実感を持てるようにしてあげたいですね。

- 刺激を減らす
先生からの説明を見聞きする時は、先生の近くにいるようにすると話を聞き取りやすく、集中もしやすくなります。必要によって、一対一で向かい合って話したり確認したりしても良いです。
- 注意を促す
他のことに関心が向いている子には、何か指示をする前に、一度先生に注意を向けられるようにします。
- 指示は具体的に分かりやすく
短く簡潔に伝えましょう。また、「あれ」や「きちんと」などではなく、具体的な言葉で伝えます。写真や動画・実物・動作を多用して伝えるとより分かりやすいです。
- 保育の中で文字を書くことに挑戦している子は、見本の字を一画ずつ色を変えると、文字の構造がわかりやすくなります。



参考書籍：「発達障害がよくわかる本」 監修・本田秀夫 「LD(学習障害)のある子を理解して育てる本」 監修・竹田契一
「LD(学習障害)の子どもが困っていること」 監修・宮尾益知

～感染症の対応についてのお願い～

日頃より訪問支援へのご理解・ご協力ありがとうございます。コロナウイルスを始め、胃腸炎、手足口病など、様々な感染症が流行しています。引き続き、訪問前にはお電話をいたしますので、互いの園の健康状況を共有させていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。又、懇談時間は感染対策として30分間とさせていただきます。状況によっては時間内に終了することができないこともあり、先生方にはご迷惑をおかけしております。今後も時間内で終了できるよう努めて参りますので、よろしくお願ひいたします。

児童発達支援センター つつじが崎学園
地域支援事業部 保育所等訪問支援
〒400-0013

山梨県甲府市岩窪町614番地

Tel 055-251-7678

Fax 055-251-7679

Mail ooshiba@tutuji.or.jp

担当：吉岡かよ 大柴知子 岩下詩歩